



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 OSJBホールディングス株式会社  
 コード番号 5912 URL <http://www.osib.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 井岡 隆雄  
 (氏名) 橋本 幸彦

TEL 03-6220-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,035	0.1	523	△6.8	561	0.1	676	61.8
28年3月期第1四半期	11,020	28.8	561	92.8	561	53.0	418	43.7

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 687百万円 (61.7%) 28年3月期第1四半期 425百万円 (30.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.62	—
28年3月期第1四半期	3.41	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	38,167	21,661	56.8	180.95
28年3月期	39,924	22,047	55.2	182.12

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 21,661百万円 28年3月期 22,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	1.0	2,600	△37.6	2,600	△37.8	1,800	△46.3	14.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	122,513,391 株	28年3月期	122,513,391 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	2,802,363 株	28年3月期	1,454,313 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	120,388,143 株	28年3月期1Q	122,486,515 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出や生産面において鈍さが見られるなか、企業収益は改善に足踏みが見られるものの高水準で推移しており、設備投資には持ち直しの動きが見られます。雇用・所得環境は着実な改善を背景に、消費者マインドに足踏みが見られるものの個人消費は底堅く推移しています。中国を始めとする新興国や資源国等において幾分減速した状態が続くと見られることや、英国のEU離脱問題等海外経済の不確実性の高まりが見られますが、景気は基調として緩やかな回復を続けています。

公共投資につきましては、国の平成28年度当初予算では、公共事業関係費について、一般会計予算では前年同水準、東日本大震災復興特別会計では前年比8.8%減となるなか、公共工事請負金額において前年比減少するなど緩やかに減少しています。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は、236億3千1百万円（前年同四半期比141.6%増）となりました。建設事業において大型物件の受注獲得があったことにより、前年同四半期と比べ大きな伸びとなりました。

当第1四半期連結累計期間の主要な受注は、以下のとおりであります。

(建設事業)

- ・ニューマチックケーソン工事

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「中央新幹線、小野路非常口他」

- ・プレストレストコンクリートの新設橋梁工事

国土交通省東北地方整備局「立沢北地区上部工事」

- ・橋梁の補修補強工事

西日本高速道路株式会社「沖縄自動車道（特定更新等）金武橋（下り線）他2橋床版取替工事」

- ・一般土木工事

中日本高速道路株式会社「新東名高速道路柳島高架橋工事」

(鋼構造物事業)

- ・鋼構造の新設橋梁工事

河内長野市「市道高瀬天野線橋梁上部工事」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したことにより、売上高は110億3千5百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注および売上の状況により、527億2千2百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。

損益面では、売上総利益は14億1千3百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益は5億2千3百万円（前年同四半期比6.8%減）、経常利益は5億6千1百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億7千6百万円（前年同四半期比61.8%増）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 建設事業

当セグメントにおきましては、売上高は90億6千5百万円（前年同四半期比5.3%減）、セグメント利益(営業利益)は5億6千4百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

#### ② 鋼構造物事業

当セグメントにおきましては、売上高は19億4千5百万円（前年同四半期比36.3%増）、セグメント利益(営業利益)は1千9百万円（前年同四半期比51.6%減）となりました。

#### ③ その他

太陽光発電による売電事業により、売上高は2千4百万円（前年同四半期比28.0%増）、セグメント利益(営業利益)は9百万円（前年同四半期比214.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は381億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億5千7百万円減少しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5.8%減少し、285億1千9百万円となりました。これは、現金及び預金は40億8千2百万円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金が50億6千3百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.0%増加し、96億4千8百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10.3%減少し、120億8千8百万円となりました。これは、未成工事受入金金は16億2千4百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金が11億3千3百万円、未払金が5億4千9百万円、その他が6億5千4百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0.2%増加し、44億1千7百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.8%減少し、216億6千1百万円となり、自己資本比率は56.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,379	12,462
受取手形・完成工事未収入金	18,390	13,326
未成工事支出金	300	513
材料貯蔵品	138	146
繰延税金資産	580	584
立替金	2,279	756
その他	235	746
貸倒引当金	△22	△16
流動資産合計	30,279	28,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	865	850
機械及び装置（純額）	2,886	2,993
土地	3,767	3,767
建設仮勘定	219	46
その他（純額）	136	144
有形固定資産合計	7,875	7,803
無形固定資産	117	205
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323	1,316
破産更生債権等	640	640
繰延税金資産	117	112
その他	262	261
貸倒引当金	△692	△691
投資その他の資産合計	1,651	1,639
固定資産合計	9,644	9,648
資産合計	39,924	38,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,646	6,512
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	1,191	641
未払法人税等	326	35
未成工事受入金	1,321	2,946
預り金	1,358	1,011
工事損失引当金	422	371
完成工事補償引当金	252	274
その他	849	194
流動負債合計	13,469	12,088
固定負債		
社債	250	250
繰延税金負債	407	405
退職給付に係る負債	3,748	3,759
その他	2	2
固定負債合計	4,407	4,417
負債合計	17,877	16,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	453	453
利益剰余金	21,247	21,151
自己株式	△311	△611
株主資本合計	22,390	21,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	114
退職給付に係る調整累計額	△460	△446
その他の包括利益累計額合計	△342	△332
純資産合計	22,047	21,661
負債純資産合計	39,924	38,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高		
完成工事高	11,020	11,035
売上原価		
完成工事原価	9,579	9,621
売上総利益		
完成工事総利益	1,440	1,413
販売費及び一般管理費	878	890
営業利益	561	523
営業外収益		
受取保険料	-	28
その他	16	25
営業外収益合計	16	53
営業外費用		
前受金保証料	8	9
その他	9	6
営業外費用合計	17	16
経常利益	561	561
特別利益		
固定資産売却益	-	20
特別利益合計	-	20
税金等調整前四半期純利益	561	581
法人税、住民税及び事業税	21	17
過年度法人税等	-	△96
法人税等調整額	121	△16
法人税等合計	142	△95
四半期純利益	418	676
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	418	676



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	418	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△3
退職給付に係る調整額	5	13
その他の包括利益合計	7	10
四半期包括利益	425	687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425	687
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	489	4.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	726	6.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,573	1,427	11,001	18	11,020	—	11,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	35	44	—	44	△44	—
計	9,583	1,463	11,046	18	11,065	△44	11,020
セグメント利益	591	40	632	2	635	△73	561

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△73百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)および連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、太陽光発電による売電事業を開始しております。当該事業の開始により報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,065	1,945	11,011	24	11,035	—	11,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	2	13	—	13	△13	—
計	9,076	1,948	11,024	24	11,049	△13	11,035
セグメント利益	564	19	584	9	593	△69	523

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△69百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)および連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第1四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	9,264	22,819	13,554	146.3	39,656
鋼構造物事業	496	788	292	58.9	5,543
その他	18	24	5	28.0	71
合 計	9,779	23,631	13,852	141.6	45,271

II 売上高

区 分	前第1四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	9,573	9,065	△508	△5.3	41,846
鋼構造物事業	1,427	1,945	518	36.3	6,601
その他	18	24	5	28.0	71
合 計	11,020	11,035	15	0.1	48,519

III 受注残高

区 分	前第1四半期 (平成27年6月30日)	当第1四半期 (平成28年6月30日)	増 減		前連結会計年度 (平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	36,459	48,332	11,873	32.6	34,578
鋼構造物事業	5,673	4,389	△1,284	△22.6	5,547
その他	—	—	—	—	—
合 計	42,133	52,722	10,589	25.1	40,125